

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成20年10月16日(2008.10.16)

【公開番号】特開2006-89739(P2006-89739A)

【公開日】平成18年4月6日(2006.4.6)

【年通号数】公開・登録公報2006-014

【出願番号】特願2005-254945(P2005-254945)

【国際特許分類】

C 0 8 G 18/42 (2006.01)

B 3 2 B 5/18 (2006.01)

B 3 2 B 27/40 (2006.01)

【F I】

C 0 8 G 18/42 F

B 3 2 B 5/18

B 3 2 B 27/40

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月1日(2008.9.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

US 6495722およびUS-A1 2002/0040122は、マンニヒ塩基に基づくポリオールを使用した純水発泡系の製造を開示し、そのようなポリオールを使用するだけで、高耐燃性および寸法安定性が得られると記載している。マンニヒ塩基に基づくそのようなポリオールの重大な短所は、噴霧発泡系としてのそれらの高粘性およびそれに対応するそれらの加工性である。それらの高粘性により、混合上の問題が生じ、従って、低い機械物理的特性を有するフォームを生じる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 7】

本発明は、本発明のPUR/PIR硬質フォームを含有する積層品も提供する。これらは、表面シートを永久的に結合させた本発明のPUR/PIR硬質フォームから製造されたコアを有する。表面シートは、軟質または硬質であってよい。例は、紙表面シート、不織表面シート（例えば、無機またはガラス繊維）、金属表面シート（例えば、鋼、アルミニウム）、木表面シートおよび複合表面シートである。そのような積層品の製造は基本的に当業者に既知であり、例えば、G. Oertel編、「Kunststoff-Handbuch」、第VII巻、Carl Hanser Verlag、第3版、Munich 1993、p.272-277に記載されている。好ましくはダブルコンベア法を使用して、60m/分までのコンベア速度で、困難なく本発明の積層品を製造する。